



## 世界から学んだ日本スポーツ界の成長

新年のお喜び申し上げます。

昨年の大谷選手の活躍はすごかったですね。こちら総務部だより23号で少し所得税の記事を書き、大谷選手の支払う税金について、正月号でとお約束しておりました。

大谷選手はこしばらく大リーグで大活躍するでしょう。つまりアメリカ在住となります。

日本国籍をもち、住民票も日本国内にあるとしても、事実上アメリカ在住（非居住者と所得税法では呼びます。）となると基本的には日本の所得税も住民税も課税されません。例外として日本国内で獲得した所得、国内源泉所得といって、たとえば日本でのテレビコマーシャル料等で稼いだ所得等が日本では課税されます。いま大谷選手は米国連邦所得税（最高税率37%）、カリフォルニア州税（最高税率12.3%）を米国に支払う立場です。日本での国内源泉所得税については皆さんと同様に3月15日までに確定申告を行い日本に支払います。大リーグの年俸700万ドルとして最高税率で仮に計算するとアメリカでは347.2万ドルを納める計算です。大谷選手の収入がマスコミ報道にあります。どうぞ試算してみてください。米国と日本で総額、どのくらいになりましよう。

スポーツ界では、特に女子バスケの活躍も素晴らしいものがありました。日本サッカーの今日を導いたドイツ人の指導者のクラマーさん（よく大和魂と言っておられました。その教え子たちが今日のJリーグを創設しました。）を彷彿とさせる外国の指導者が女子バスケの監督さんでした。今後の女子バスケに期待しましょう。戦前の日本が軍力で世界に進出しようとし世界から孤立した歴史を振り返ると隔世の感があります。

今年は、私たちが海外に目を向け経済のみならず文化をも発信していく年になりそうです。こちら総務部もその一助を担う新年としたいと思います。

四ヶ所十郎

こちら総務部便り

Vol. 26

2022  
睦月号



令和3年

## 年末調整について



年末調整で、昨年から基礎控除が38万円から48万円に引き上げられました。

また、特別の寡婦がなくなりひとり親控除になりました。

このひとり親控除と寡婦控除について、各会社の年末調整の計算をしている担当者からよく質問があります。

### ※ひとり親とは・・・

現に婚姻をしていない人又は配偶者の生死が明らかでない人のうち、次に挙げる要件を満たす人をいいます。

\*その人と生計を一にする子（所得金額が48万円以下）を有すること。

\*合計所得金額が500万円以下であること。

### ※寡婦控除は・・・

①夫と離婚後婚姻していない人のうち、子以外の扶養親族がいること。

合計所得金額が500万円以下であること。

②夫と死別した後婚姻をしていない人又は夫の生死が明らかでない人のうち

合計所得金額が500万円以下であること。

### ※生命保険料控除について・・・

妻が契約者の生命保険料も夫の年末調整で控除できるかという質問もよくあります。

妻が契約者でも夫が支払ったものであれば、夫の生命保険料控除の対象となります。

また、扶養親族の分の国民健康保険や国民健康保険料も控除できます。

### ※配偶者控除について・・・

配偶者の年収が103万円を超えた場合も、配偶者特別控除を受けることができるかもしれませんが、配偶者控除等申告書の配偶者の収入金額の記載漏れに注意してください。

また、税務署から【扶養控除等の見直しについて】という文書が、ときどき送られてきますが「誤りがあると考えられる控除対象者に関する事項」が一番多いのが配偶者控除の所得超過です。

特にパートやアルバイトの配偶者の方は、収入金額の記載に注意してください。

最後になりましたが、本年もよろしくお祈りします。

\*\*\* 北原 \*\*\*



日本 6・3・3

ベトナム 5・4・3



この数字の意味は一体何でしょうか？「日本とベトナムの小学校・中学校・高校の教育年数」です。日本の教育制度との違いは、ベトナムでは小学校が5年間で1年短いということと、中学が4年間だということです。義務教育は小～中学校までの9年間なので、年数では日本と同じです。

### 入学年度の違い？

ベトナムは小学校から大学まで新学年は9月上旬に始まり、1月末から2月末までの旧正月を挟み、翌年5月末までの2学期制を敷いています。

日本はほとんどの学校は新学期が4月の春学期から始まります。「桜が咲くころといえば新学期」という風習ですね。4月入学を行っているのは日本くらいで、9月入学する国が多いみたいです。

### ベトナムと日本の教育の違い

日本の大学で勉強していた私が考える、日本とベトナムの教育方法の違い。一つ目は「就職活動」です。日本の学校では先生たちからいろいろサポートを受けて就職活動をします。それはベトナムにはないものです。それは卒業まで就職先から内定を貰えることで安定的に就職できることです。私はベトナムでも大学を卒業しましたが就職するのが難しく卒業まで就職支援がないので大変でした。日本では大学3年生になると就活の準備をするように就職課の先生たちから支えてもらいました。これは日本教育の素晴らしいところだと思います。

もう一つは自分が日本で体験したことなのですが、事務所で働く主婦の方と話した時に気付いたことです。それは「進路指導」です。日本で小学校から中学校、中学校から高校というように上級の学校へ進む時等に子供たちが親の目指す学校に通うことが多いようですね。学校に自分の子供がしている部活があるかどうか、家から学校までの交通が便利かどうか色々な学校の説明会に行ってちゃんと検討して親がとても忙しそうだと思います。

しかし、ベトナムには大学に進学以外進路指導がないです。学生たちが全員上級の学校に上がる試験を受けなければならないです。試験問題が各地方の教育省に作られる問題で模擬テストもなく問題が出る範囲もなくとても難しいです。県内にある学校が教育質によってランキングされます。ランキング上位の学校は点数が高い学生しか入れないです。学校の偏差値を超える点数を取ればあの学校に入れる。それで親が目指す学校であっても子供の能力がないといけません。ベトナムで進学試験日が国のお祭りみたいでニュースや新聞によくアップデートされます。

新年明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。

フウ





## 2021年の振り返りと2022年の目標



2021年を振り返る前に、2021年の目標を思い出そうとしましたが、どうしても思い出せません。目標を書き込んだノートすら探し出せませんでした。皆様はいかがでしたか？  
いつもは計画が大事とか言っていますが、まさに言うは易く行うは難しですね。

さて、2021年の振り返りですが、社会的にはコロナにより制約を課された年という印象でした。東京オリンピックは開催されましたし、メダル獲得数も素晴らしいのですが、その裏ではコロナの問題が付き纏い、いまいち盛り上がりなかつたというのが個人的な感想です。そんな中でも選手や運営はできる限りのことをやっていました。

私の2021年とはいうと、ダラダラと過ごしてしまったという一言に尽きます。やはり計画は大事ですが、それ以上に実行に移すこと、また、実行するにはどうすれば良いのか常に考えることがより大事だなと思います。

これを踏まえて、2022年の目標は、『昨日の自分を越える』『毎日ベストを尽くす』にしようと思います。漠然としすぎていますし、月並みですが、結局は日々の積み重ねなんですよ。頑張ります！

四ヶ所 直樹



## デジタル化とは？DXにおける「デジタル」の本質的な意味



### デジタル化とは？DXにおける「デジタル」の本質的な意味

デジタル化やDXに対する誤った認識を持ったままですと、DXが表面的にのみ推進されてしまい、本質的な効率化や最適化が実現されないケースが多々見受けられます。私もその一人です。書類や帳票をデジタル化するために事務作業が増え、結局最後は紙で印刷しなければならず、「デジタル化でかえって非効率」になってしまうような状況です。

今回は、デジタル化とはそもそも何か、DXにおける「デジタル」の本質的な意味を考えていきたいと思います。

### デジタル化やDXの誤ったイメージやありがちな勘違い

はじめに、デジタル化やDX(デジタル・トランスフォーメーション)の誤ったイメージやありがちな勘違いについて見ておきましょう。

(単にペーパーレスにするだけで情報をデータとして扱っていない)

単に紙ベースの帳票からエクセルに転記するだけ、もしくは基幹システムや業務端末に打ち込むけれどデータの一元管理や共有はできていないようなケースも、見た目的には「電子化」されていることになり、ペーパーレス化に成功していると勘違いされる場合があります。いわゆる「パソコンに取り込めばOK」のような勘違いが発生しているということです。正しいペーパーレス化とは言えません。

### 本質的な意味でのデジタル化とは何か

次に、本質的な意味でのデジタル化とは何かを簡単に説明します。

(DXにおけるデジタルの本質的な意味)

DXにおけるデジタルの本質的な意味とは、デジタル技術を活用することで効率化や最適化、利便性の向上や無駄の排除を行うことです。利便性の向上や無駄の排除とは決して人件費削減だけのためではなく、現在の従業員や人材の持つ「有限の時間」を有効に使ってもらうことが目的です。

一昔前であれば人力でなければ対応できなかったような事務作業も、現在ではAIやRPA※などを組み合わせて使うことで膨大かつ煩雑な事務作業が一気に削減されることも可能になってきています。

※RPAは、ソフトウェアロボットを使って、コンピューターを使ったデスクワークなどの業務を



## ～財務指標の視点から決算書を見る⑫～



謹んで、新年のお喜びを申し上げます。旧年中は、弊社に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

今回は、「キャッシュ・フロー計算書」について書き記していきます。

キャッシュ・フロー計算書とは、会社の一会計期間の現金や預金(キャッシュ)の流れ(フロー)を表したものになります。

会社のキャッシュがどのような要因によって増減したか、ということです。キャッシュ・フロー計算書を読み解くことで、会社の安全性と収益性、両方が分析できます。

キャッシュ・フロー計算書の下記の三つから構成されています。

営業活動によるキャッシュ・フロー以下、(営業C/F)	本業の事業活動によって稼ぎ出したキャッシュの増減
投資活動によるキャッシュ・フロー以下、(投資C/F)	既存事業の維持や新規事業のための投資活動で生じたキャッシュの増減
財務活動によるキャッシュ・フロー以下、(財務C/F)	外部からの資金調達や資金の返済によって生じたキャッシュの増減

次に三つのキャッシュ・フローのプラスとマイナスの意味を整理すると

	営業C/F	投資C/F	財務C/F
プラス	↑ 本業が順調	↑ 守りの経営	↑ 導入・成長期
マイナス	↓ 本業が苦戦	↓ 攻めの経営	↓ 成熟・衰退期

営業C/Fは、本業で稼ぎ出したキャッシュの増減を意味するので、プラスの会社は本業が順調な会社になります。逆にマイナスの会社は本業で苦戦していることとなります。一時的にキャッシュの流出が増えて営業C/Fがマイナスになるケースはあるかもしれませんが、2期連続マイナスとなると、それは一過性ではない状態といえます。

投資C/Fは、投資活動によって生じたキャッシュの増減を意味するため、事業を継続・拡大させるためには、何らかの投資を続ける必要があるためマイナスが普通とも言えます。逆に、保有する設備等を売却したり、既存事業の一部を他社に切り売りしたりと、事業を縮小すると投資C/Fはプラスになります。

財務C/Fは、資金調達や資金の返済によって生じたキャッシュの増減ですが、このプラス、マイナスは事業のライフサイクルを反映しています。プラスの会社は事業の導入期・成長期にあると考えられます。事業をスタートさせて軌道に乗るまでは通常、株式を発行して株主から出資を受けたり、金融機関からキャッシュを借りたりと、運転資金を確保する必要があります。このようにして資金を確保することでキャッシュが増えるため、プラスになる傾向があります。逆に、財務C/Fがマイナスの会社は、事業が成熟期・衰退期にあると考えられます。事業が成熟してくると、株主への配当や、借りたキャッシュを返せるようになるため、マイナスに表れる傾向にあります。

以上のようにキャッシュ・フロー計算書は三つから構成され、それぞれにプラス、マイナスの意味があります。

～前問～

### 自動化するテクノロジーです。

(デジタル化とは、活用や再利用できるようなデータを蓄積することでもある)

デジタル化とは単にパソコンやシステムに情報を取り込むことではなく、取り込んだ情報を活用や再利用、もしくは共有できるようにデータを蓄積することでもあります。

例えば、特定の担当者のパソコン上でエクセルに打ち込んだデータやファイルがあったとして、他の人はそのデータを活用することはできません。一元管理されていない状況であるため、電子化・デジタル化されていたとしても、他のシステムやソフトウェアから参照できなかったり、必要な時に取り出せなかったりします。

情報資産という考え方、もしくはビックデータの蓄積という形で、今まで紙ベースで廃棄されてきたような情報の再利用や再活用が進んでいます。ひとつひとつのデータに意味がなくても、蓄積されたものを組み合わせることで利益を生むということを理解しておかなくてはなりません。

(デジタル化するための作業そのものを自動化および最適化すること)

デジタル化するための作業そのものを自動化および最適化することを、まずは知っておきましょう。エクセルに手入力、そのデータをメールで送信、メールで受け取ったエクセルを目視でチェックして基幹システムに手入力、手入力したデータを印刷して承認やチェックをしてもらう等、とことろでデジタル技術は使っているけれど、一元的なペーパーレス化が進んでいないような状況はタブーと言えます。

情報はシステム上で処理され、データが活用されるポイントまで自動で送り届けられるようにすることこそ、本当の意味でのデジタル化や自動化、最適化と言えるでしょう。

### まとめ

最後に、デジタル化やDXの推進のメリットは作業や業務を人間が行わずに済むことです。

毎日繰り返す必要があること

- ・ 同じ作業を何度も繰り返すこと
- ・ 誰が作業しても同じ結果になること
- ・ 作業量が膨大で常に対応に追われること
- ・ 作業するために人的資源と時間的な資源を浪費すること

どれかに属するか、いくつか重なってしまうような作業は、デジタル化によって効率化や最適化すべきと言えます。同時にこれらの要素はすべて事務作業に共通するものでもあります。こうした業務や作業をシステムに任せると、人間の時間を確保すること、人間にしかできないことをするための時間を確保することこそ、生産性の向上につながります。



辻 直英